

千差万別・多種多様…ギタリストのスタイルは色々だが、トレーニングと学習の積み重ねで己の姿を確立したジョンは、その一派に於いて最高峰。付録DVD映像連動の当企画にもビシヤリ存在と言える。そんな正確無比の技術を実際に見る！これほど刺激的な、ひいてはプレイする意欲と糧になる事ってそう多くはない。先月解説した新作『SIX DEGREES OF INNER TURBULENCE』のフレーズはチョッと強敵という人も、エクササイズ的なコレなら手を出しやすいはず。DVD映像&以下の譜面でペトルーシ奏法攻略だ！

# トレーニングと学習の積み重ねによって 最高峰技術は己のスタイルへと確立される！

## 右手ピッキングの正確さを鍛える 基本エクササイズ(Ex-1~Ex-2)

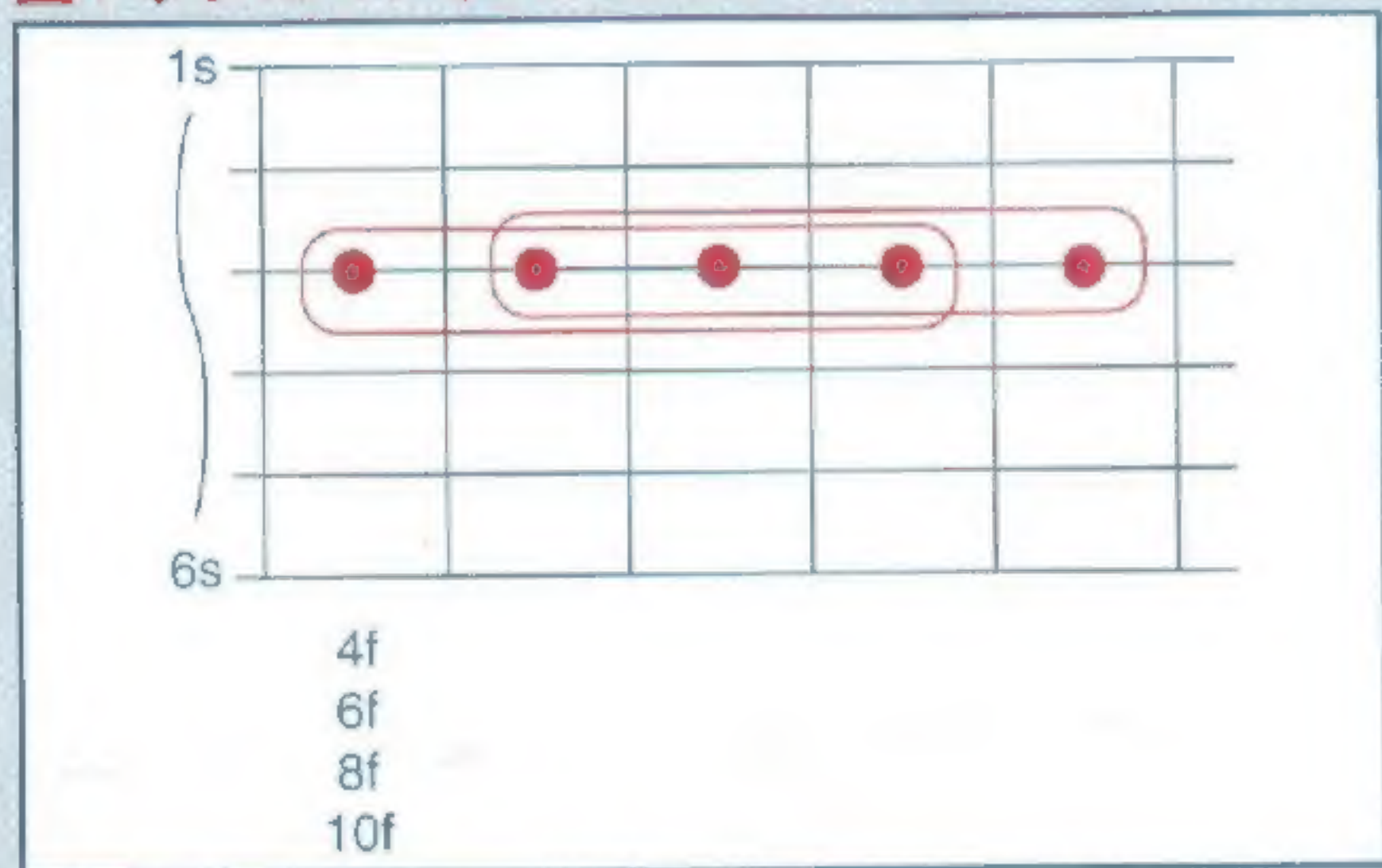
ジョンのスキルフルを支える最大の肝はピッキングである。厳密に言えば、右手ピッキングと左手フィンガリングのタイミングが見事合致しているからピッキ

### Ex-1◆[Picking & Fingering #1] クロマティック4音6連の1本弦上昇リニア・パターン

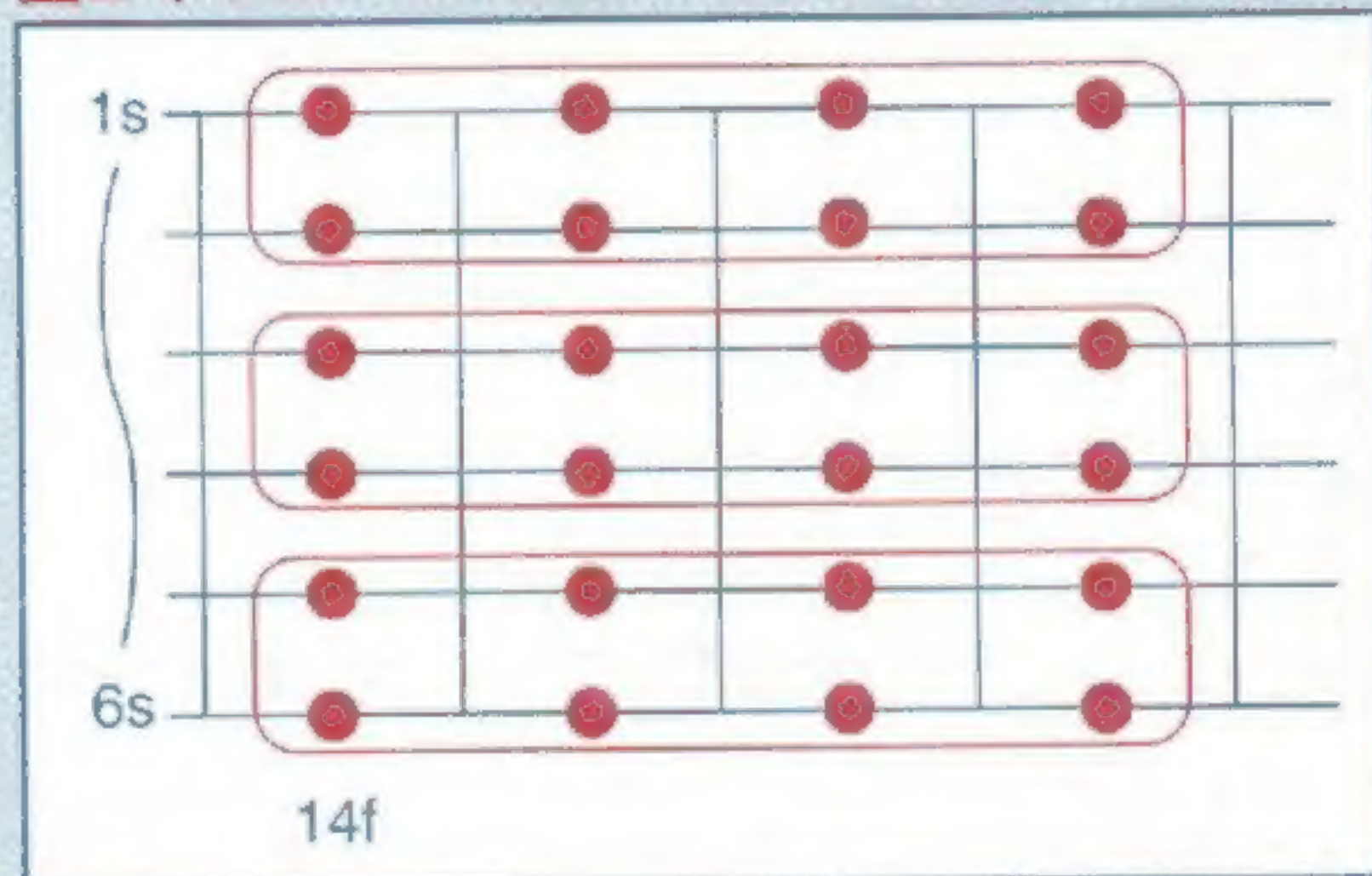
●奇数拍は上昇始まり、偶数拍は下降始まり、という違いはあるが、各拍とも4音クロマティック・フォームであり、それを1フレットずつ上昇しているだけ。

人 中 薬 小 薬 中 小 薬 中 人 中 薬 人 中 薬 小 薬 中 小 薬 中 人 中 薬 人 中 薬 小 薬 中 小 薬 中 人 中 薬 小

#### 図1◆クロマティック・リニア・ポジション



#### 図2◆クロマティック・ボックスド・ポジション



### Ex-2◆[Picking & Fingering #2] クロマティック4音6連の縦移動ボックスド・パターン

●Ex-1のフィンガリング・パターンを、14f~17fに当てはめ、それを6弦から1弦の間で弾いたもの。弦移動フレーズでは、特にピッキングの動きをコンパクトに。

人 中 薬 小 薬 中 小 薬 中 人 中 薬 人 中 薬 小 薬 中 小 薬 中 人 中 薬 人 中 薬 小 薬 中 小 薬 中 人 中 薬 小

小 薬 中 人 中 薬 人 中 薬 小 薬 中 小 薬 中 人 中 薬 人 中 薬 小 薬 中 小 薬 中 人 中 薬 小 薬 中 人





ングが凄く見える、という事になる訳だが、マァその  
辺の細かい事はこの際抜き。とにかくピッキングの正  
確さは誰もが羨むレベルだ。その基本を鍛えるための  
エクササイズとして弾いてくれたのが、Ex-1とEx-2の  
2つ。

Ex-1は、図1のように“クロマティック4音”を1フレットずつ上昇して行くリニア・パターン。Ex-2は、同じ要領で縦に移動して行くボックスド・パターン(図2)。ダウン→アップ(■→▽)のオルタネイト・ピッキングに焦点を絞ったエクササイズであるため、左手の動きはパターンさえ理解すればシンプルだ。が、最初から彼のように長く速さ&正確さをキープするのって難しいだろうな。初めは長くても2拍、その程度で右手と左手のタイミングを合わせつつスピードを付ける、そんなトレーニング法がベターかもよ。焦りはNGだ。急がば回りましょう。

### ピッキングの瞬発力を鍛練する パターン反復練習 (Ex-3)

Ex-1、Ex-2のようなフレーズは、速さを持続させる  
点が難しい。陸上競技で言えば、これは400mか800

mの過酷な中距離走。それに対して、瞬間的なスピードを要する100m的エクササイズがEx-3。ここでは手首の細かい瞬発スナップが必要になる。

尚、Ex-3のシンプルなパターンは音(ライン)を覚える事が比較的簡単だ。自分なりに手を加え、自前の速弾きリックを作るのも面白い。

## 弦替わりピッキングの難点を克服する課題演習 (Ex-4~Ex-6)

ピッキングの厄介な1点は、弦を替わる際の弾きコナしにある。Ex-1のように1本弦上で弾く時がピッキングそのものは最もシンプルであり、弾く弦が多くなるほど難易度はアップする。そこを克服するためのエクササイズがEx-4～Ex-6。

Ex-4は図3に示した“6音グループ”を移動する2本弦弾き。ジョンは[4弦ダウン/3弦アップ]の“アウトサイド”ピッキング(2本の弦の外側からピッキング・ストローク)だが、逆の“インサイド”ピッキング[4弦アップ/3弦ダウン]の方が弾き慣れている人もいて不思議はない。その場合は自分流を通した方がいい。

### Ex-3◆[Picking&Fingering #3] 瞬発スナップ・ピッキング!!

●DVD映像を見ると、右手は期待くスナップを効かせている様子が分かる。綱発力のあるピッキングを心掛けよう。



藥 人 中 小 中 人

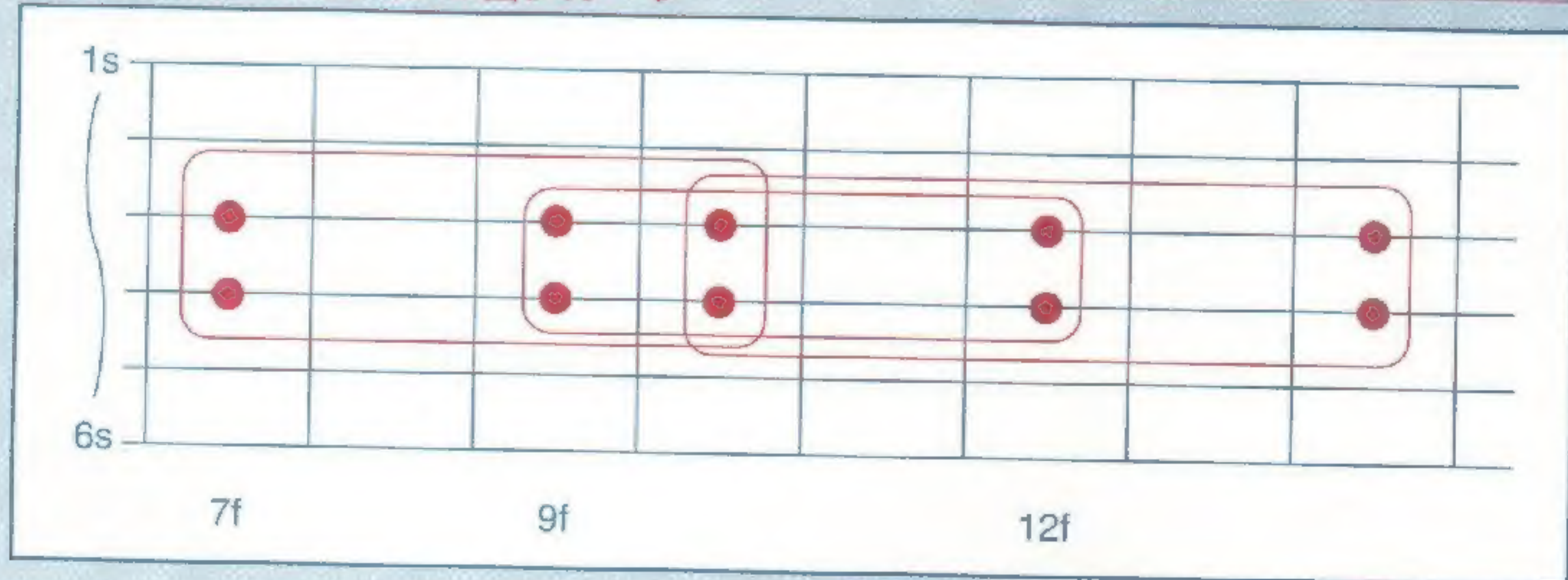
### Ex-4 ◆ [Picking & Fingering #4] 6音グループを移動する2本弦弾きエクササイズ

●まずは1ポジション、そこで右手ピッキングと左手フィンガリングのタイミングを測るべし。それが完璧になれば、もう殆どこのフレーズは卒業だが...



人小人中 小人小中人 小人中 小人小中人 小人小中人 小人小中人 小人小中人

### 図3◆3ポジションの“6音グループ”







# Mystic Dream Exercise John Petrucci / DREAM THUNDER

Ex-5は弦越えオクターヴの連続フレーズ。一見複雑だが、要は図4の2ライン(実線と点線)上を交互に動いているだけだ。ここもピッキングは“アウトサイド”式だが…、君はこちら派か、あるいは“インサイド”派か!?

スキッピング・フレーズとしてはよりスタンダード

なのがEx-6(図5)。フレーズの性格上、“アウトサイド”と“インサイド”の両方出て来る事は避けられないパターンだ。がしかし、ここではそれより、スキップする3弦からノイズを出さず速く弾く、ここを課題にした方が良さそう。その第一歩は、ピッキング・アクションを小さくする事。

## ハンマリング&プリング多用の左手フィンガリング強化(Ex-7)

ハンマリング&プリング多用でレガート感を出した例がEx-7(図6に示した使用ポジションは[Aミクソリディアン・スケール]だが、Ex-7は6弦7fのB音がル

### Ex-5 ◆ [Picking & Fingering #5] 連続オクターヴのスキッピング・フレーズ

●ややこしい動きだが、図4(実線と点線の2つのオクターヴ・ラインが交互に弾かれる)で視覚的に整理しておきたい。大きくなりがちな右手の動きに要注意。

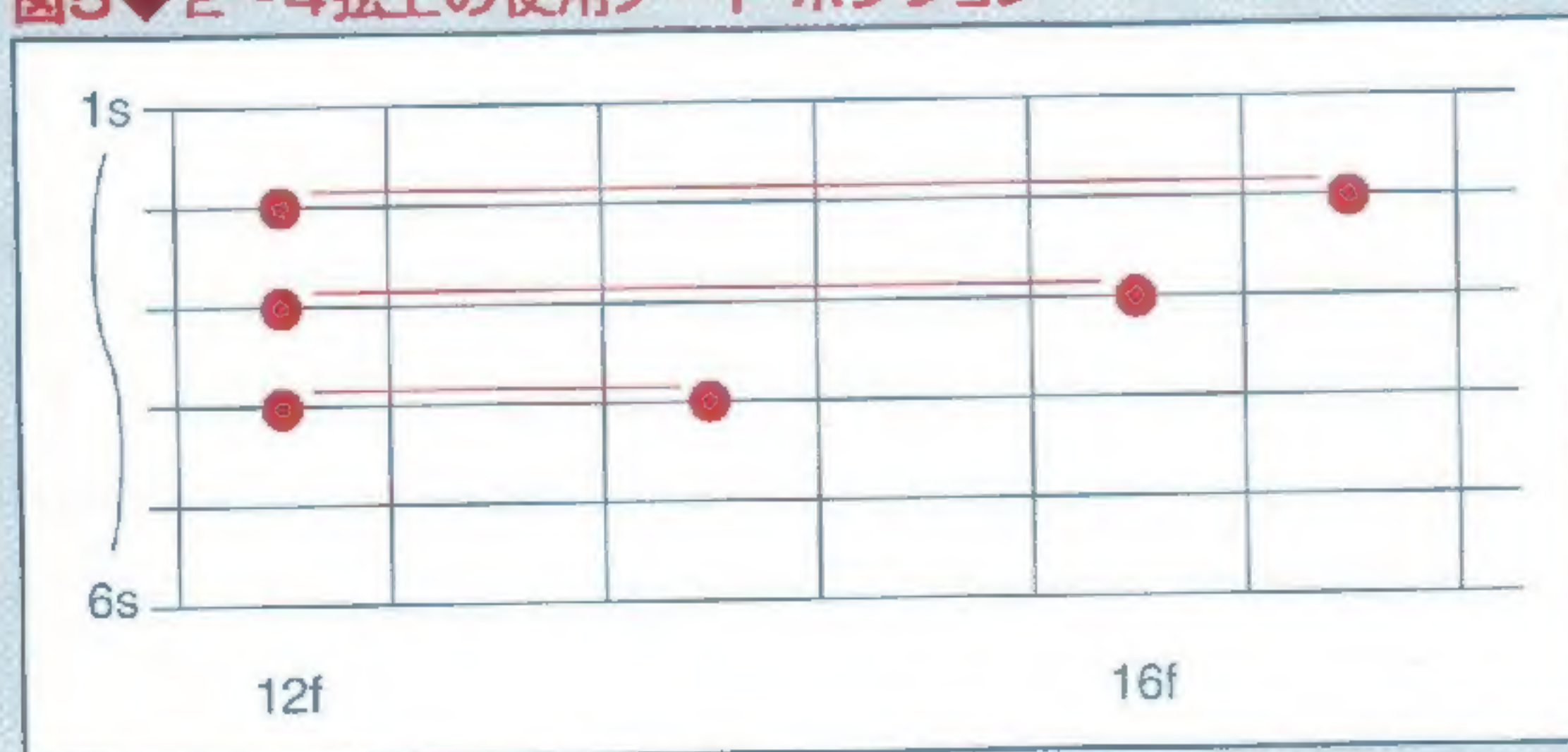
### 図4 ◆ オクターヴ・ラインの2ポジション



### Ex-6 ◆ [Picking & Fingering #6] スキップ含みの“インサイド”と“アウトサイド”

●越える3弦からノイズを出さないためには、左手の総ての指が弦からあまり離れないフィンガリングがベター。具体的には中指の腹、2弦入差指の先端で3弦をミュートしておく。

### 図5 ◆ 2~4弦上の使用ノート・ポジション





ート音。スケール的には[Bマイナー・スケール]になる)。

ここでの注目は、ピッキングが上昇時の(譜面上に示した)ダウン4回だけ…、後半の下降パートでは一

切ピッキングしていないという点である。つまり左手のフィンガリングだけで音を出して行くという作戦。DVDでは、ジョンがそこを分かりやすく弾いている。要確認!

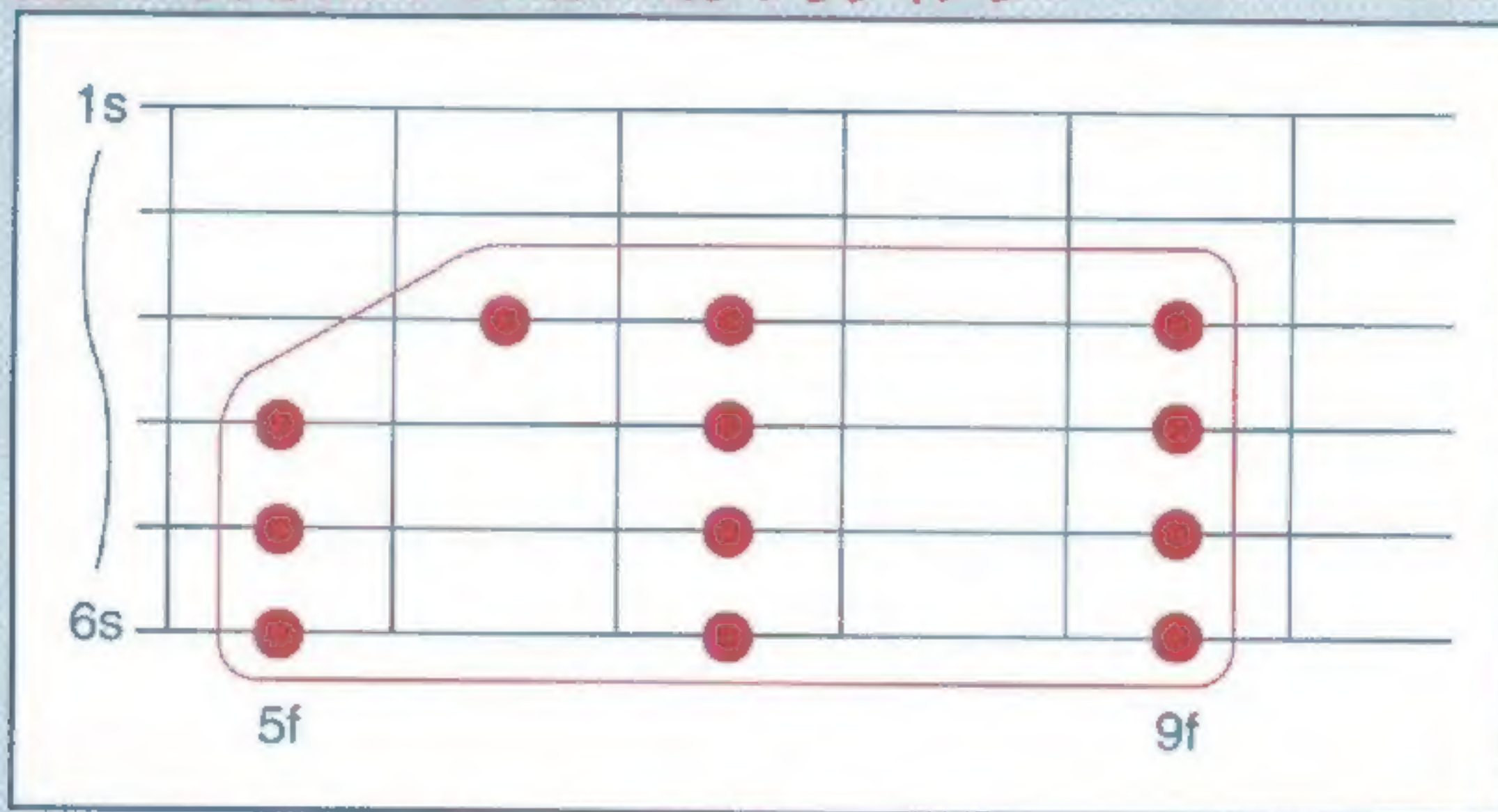
## アルペジオ・プレイの肝となる動きと速さの鍛練(Ex-8~Ex-9)

Ex-8、Ex-9はアルペジオ例として弾いてくれたも

### Ex-7 ◆ [Legato] ピッキングは上昇時に4回のみ、下降時は皆無!

●後半下降時はピッキングなし。よって特にこのフレーズではH、Pの強さ(実際にはコツだが)が大切になる。DVDでジョンが見せているように、ゆっくり弾いて1音ずつ綺麗に出す、これが良い練習だ。

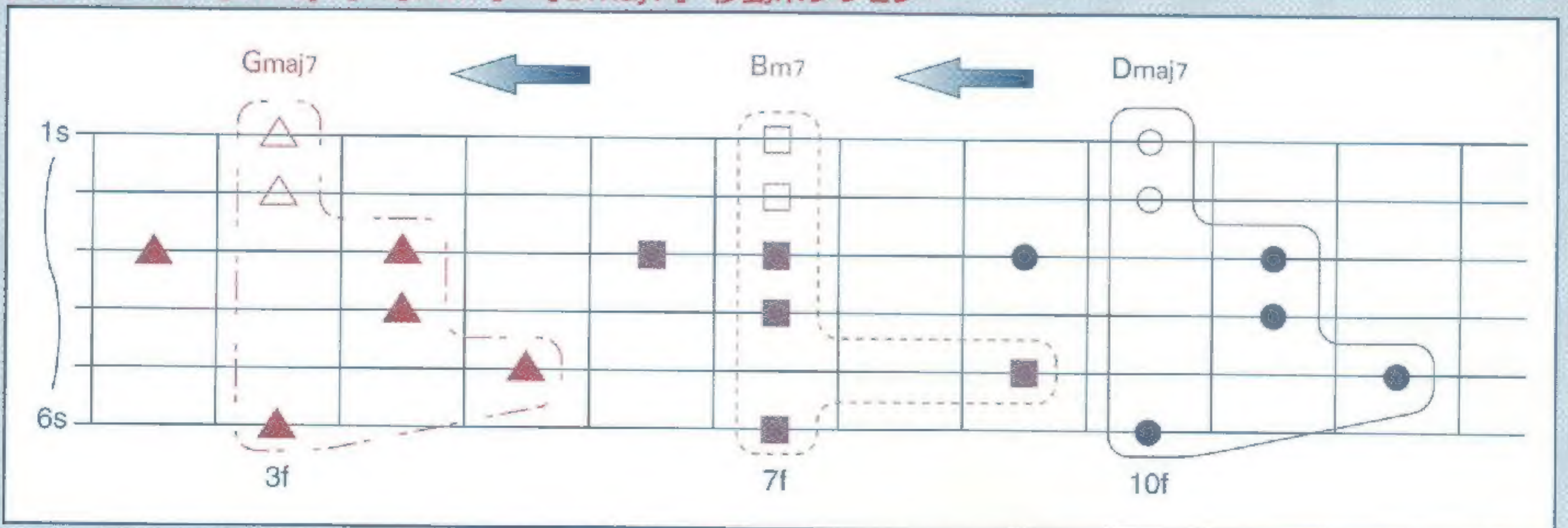
図6 ◆ 使用ポジションはAミクソリディアン



### Ex-8 ◆ [Arpeggio #1] 3コード・フォームを追って動くアルペジオ・エクササイズ

●図7の3フォーム・コード進行を視覚的に覚えれば、あとは早い。1小節目と3小節目の[maj7型]と2小節目の[m7型]、このラインの違ひも整理しておこう。

図7 ◆ コード "[Dmaj7]→[Bm7]→[Gmaj7]" 移動ポジション





の。と言っても、趣はまるで異なる。Ex-8の方はコード・フォームを追った動き(図7参照。各小節のフレーズは、図の3フォームを基にしている。●▲■印音がEx-8で使っている音)。それに対してEx-9は、1弦2弦でのトラディショナル・スタイル。動きの前者、速さの後者…、敢えて言えばそういう特徴が。

## 左手の柔軟性を向上させる 過激ウルトラ・コード(Ex-10~Ex-12)

Ex-10(図8)~Ex-12(図10)は、ストレッチを駆使しなくてはならないウルトラ・テンション・コード。本誌2001年10月号の“G3”インタビュー・ページに掲載

したコード譜を憶えているでしょうか。あのメリでリクエストした3フォームであり、使用法に関してはNOタッチ。要するに、難解なテンション・コードを押さえる事も1つのフィンガリング・トレーニング…、その3例であると、そう解釈してほしい。左手の柔軟性アップにはかなり効果的だ!

## Ex-9 ◆ [Arpeggio #2] リズム的なトレーニングとしても有効な2本弦アルペジオ・エクササイズ

●“1拍半フレーズ”のため、1小節=[6音+6音+4音]に聴こえるが、リズム的にはあくまでも[4音+4音+4音+4音]。そこに慣れるのも大切なトレーニングの1つだ。

薬 人 中 薬 中 人 小 人 中 薬 中 人 薬 人 中 人

小 人 中 小 中 人 小 人 中 小 中 人 小 人 中 人

## Ex-10 ◆ [Chord #1] 人差指バレーとストレッチ駆使

●バレーさせた人差指で押さえる1弦&2弦が最も厄介。人差指は親指側の側面を使う感じ。

人 中 小 薬 人 人

## 図8 ◆ Gadd9(#11) コード・ポジション

人 人 薬 小 中 人

□はルート音

## Ex-11 ◆ [Chord #2] 小指バレーの超難フォーム

●4弦~2弦11fの小指バレーで1弦音を消してしまうのは当然! 相当小指を反らせないと無理だ。

人 中 小 小 小 人

## 図9 ◆ Bmaj9 コード・ポジション

人 小 小 小 中 人

## Ex-12 ◆ [Chord #3] 難解ストレッチ・フォーム登竜門

●3つの中では最も身近なフォーム。人差指で6弦2fまで押さえれば[F#m9]になる。

中 小 人 薬 人

## 図10 ◆ C#m(11) コード・ポジション

人 薬 人 小 中